

# 距離 と 感覚

distance  
/  
sense



akihiko ota



tomomi sugimura

写真展「距離と感覚」 太田章彦 / 杉村知美

2020年11月7日(土)～12月20日(日)

開催場所 今井美術館 (2階展示室)  
島根県江津市桜江町川戸472番地1 / TEL 0855-92-1839

開館時間 10:00～16:00 (会期中無休)

入館料金 一般 当日800円 (1階 常設展 / 2階 写真展)  
(前売券の取り扱いはありません)  
学生及び18歳未満 無料、身障者手帳保持者 無料

主催 今井美術館



# 距離と感覚

当展示は、島根県松江市出身の太田章彦と杉村知美の二人展です。

松江市で生まれ育ち、高校卒業を機に離れるまでの時間をここで過ごし、そして離れてから数年経ち、帰ってきたときに生じている感情に目を向けることから、この二人展は始まりました。

distance / sense



私はいま、隠岐諸島のひとつ海士町に住んでいる。2013年の春に海士町に引っ越してきたので、2020年の春で島での暮らしは7年になった。この7年のあいだに、実家を松江市から母方の祖父母のいる浜田市へ移した。私の「実家」に対する理解は、両親が暮らしているところを意味しているが、それが浜田市に変わったことで、今までみていた松江の景色が変わっていくことになった。実家が変わっても、松江が地元であることは変わらないという自分のなかでの事実と、変わりゆく街並みに対して、記憶がだんだんと美化されていく怖さがあった。

今回の展示で「見えないけれど、確かにそこにあるもの」の輪郭を触って確かめるような感覚を味わった。



太田 章彦 Akihiko Ota

1989年 島根県松江市生まれ。2011年 ビジュアルアーツ専門学校・大阪 卒業。撮影対象のテーマが存在する土地で、暮らしながら撮影する。土地の過去と今をテーマに作品制作を続ける。

それまで自分が生まれて当たり前で過ぎていた街を離れて、外から“帰ってくる”ようになった十数年間。

離れてみて気付いたこの場所の鮮やかさ。だんだんと別の土地に離れていく感覚。

長い時間がたって写せるようになったのは自分だけが見つけた場所。

ゆっくりゆっくり変わっていく街で、自分は何かが変わったのかなと歩きながら考える。今ここできれいなものをたくさん見つけているのに、本当にこの場所に自分はいるのかなとなげかける。

一旦離れてしまったものにもう一度近づきたくて、目を向けて手を伸ばしてそのかたちを掴みたいと思う。



杉村 知美 Tomomi Sugimura

1988年 島根県松江市生まれ。2013年 岡山県立大学デザイン学研究科 修了。日々のスナップの作品、また立体の写真作品も制作。些細でも目にとまる日常の瞬間や、頭に浮かぶイメージを撮っている。



今井美術館

〒699-4298  
島根県江津市桜江町川戸472番地1

TEL.0855-92-1839 (平日9:00~16:00)

アクセス

■浜田自動車道旭ICから車で約20分 ■松江から車で約2時間  
■広島市内から約1時間30分(山陽自動車道広島JCT~旭IC経由)

